

# 平成28年度事業報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

昨年は、紀勢道の南進やHNK大河ドラマ「真田丸」効果等により県内を訪れた観光客は過去最高を記録しました。本年も、世界遺産の追加登録やさらには阪和自動車道と京奈和自動車道の接続、第2阪和道路の全線開通などにより、地域の産業、観光等において、さまざまな効果が期待されると思いますが、米国でトランプ政権が誕生し、その施策が政治・経済面を始め、国際社会、そしてわが国の今後に大きな影響力を及ぼすと考えられ、先行き不透明な状況が続いています。

一方、県下の労働災害の発生状況ですが、和歌山労働局の資料によりますと、県下全体の死傷者は、一昨年より46名減の1,073人、死亡者は一昨年より2名増の14人で、3年連続で増加し、過去5年間で最多という状況です。

和歌山労働局では、平成25年度から平成29年度までを期間とする「第12次労働災害防止計画」を策定し、期間中に県下の死亡者数及び休業4日以上死傷者数を、それぞれ「15%以上減少させる」ことを目標としており、今年はその最終年に当たりますが、目標達成に当たっては、今まで以上の取り組みが必要な状況です。

また、和歌山労働局では、「働き方改革」として、より働きやすい魅力的な職場環境を目指す取り組みを進めておりますが、依然として長時間・過重労働や賃金不払残業等労働基準関係法令上問題が認められる事案が少なからずあるとのこと。

このような中、当協会としましては、行政のご支援、ご指導ならびに理事役員、会員の方々のご理解、ご協力を賜りながら労働災害防止及び労働条件の確保・改善等に関する各種事業を取り組んできたところです。

## 1 会員数の状況（平成29年3月31日現在）

<u>会員（個別）</u>	（ ）内は昨年度の会員数	<u>会員（団体）</u>
和歌山支部……………	412事業場（420）	
日高・有田支部…	220事業場（223）	日高・有田支部…14団体
橋本支部……………	303事業場（302）	
田辺支部……………	135事業場（140）	田辺支部……………18団体
新宮支部……………	393事業場（402）	
<u>合計</u>	<u>1,463事業場（1,487）</u>	<u>合計 32団体（32団体）</u>

## 2 役員の状況

会 長（代表理事）……………	1名
専務理事（業務執行理事）…	1名
理 事 ……………	7名
監 事 ……………	1名

### 3 理事会・総会の開催状況

- ① 理事会（計画・予算）（平成28年3月24日 於：地場産センター）
- ② 理事会（報告・決算）（平成28年4月21日 於：アバローム紀の国）
- ③ 定時総会（決算等）（平成28年6月8日 於：アバローム紀の国）
- ④ 理事会（計画・予算）（平成29年3月23日 於：労働基準協会）
- ⑤ 理事会（報告・決算）（平成29年4月21日 於：労働基準協会）

### 4 主要事業の実施状況等報告

#### 1 公益目的事業 <1>

（労働者の福祉の向上を目的とした事業への取組み）

##### (1) 労働災害防止に対する意識の啓発

(イ) 全国安全週間：7月1日から7月7日

（準備期間：6月1日～6月30日）

協会紙「労基ニュース紀の国」（以下協会紙という）、ホームページ等を活用しての準備期間中から啓発活動等を実施しました。

(ロ) 全国労働衛生週間：10月1日から10月7日

（準備期間：9月1日～9月30日）

協会紙、ホームページ等を活用しての準備期間中から啓発活動等を実施しました。

##### (ハ) 平成28年度第56回「和歌山県労働安全衛生大会」の開催

平成28年10月4日（火）に「和歌山県民文化会館」小ホールにおいて県下労働災害防止関係団体との共催、和歌山労働局、各労働基準監督署、和歌山県、および和歌山市の後援にて開催し、392名の参加がありました。主な内容としては、以下のとおりでした。

- ①安全・衛生活動における優良事業場および功績のあった方に対する会長賞の表彰（5事業場、9名）
- ②和歌山労働局長安全衛生表彰受賞者および中央労働災害防止協会無災害記録証受賞事業場の披露
- ③和歌山労働局健康安全課長による「基調講演」
- ④一般社団法人日本ほめる達人協会認定講師の  
小林 康子氏による特別講演  
「見る!聞く!感じる! ☆社員が輝き、組織が輝くほめ達の魔法☆」
- ⑤大会決議の採択

(二) 各支部における取組み等

その他各支部においても、全国安全週間・全国労働衛生週間の準備期間中を中心に「安全管理、衛生管理のつどい」等安全衛生大会や研修会等を開催しました。

(ホ) 全国産業安全衛生大会への参加

平成28年10月19日から21日に仙台市で開催された第75回全国産業安全衛生大会に、当県から38名が参加しました。

(ハ) 年末・年始無災害運動の実施

期間：平成28年12月15日から平成29年1月15日まで  
中央労働災害防止協会の主唱に呼応して、労基ニュース、ホームページ、各種講習会等の機会に啓発活動等を実施しました。

(ト) 和歌山県労働災害防止団体連絡協議会の開催

和歌山県内の労働災害防止団体（以下のとおり）との連絡協議会を年3回開催し、和歌山労働局の労働災害防止対策に基づき県下の労働災害防止のための諸取組みを実施しました。

- 建設業労働災害防止協会和歌山県支部
- 陸上貨物運送事業労働災害防止協会和歌山県支部
- 林業・木材製造業労働災害防止協会和歌山県支部
- 港湾貨物運送事業労働災害防止協会和歌山支部
- 一般社団法人日本ボイラ協会和歌山支部
- 一般社団法人日本クレーン協会和歌山支部
- 建設荷役車両安全技術協会和歌山県支部

その中で、平成29年2月27日、和歌山労働局との共催で、「第12次防最終年度、現下の労働安全衛生対策の重点課題について」と題して安全衛生管理研修会を開催いたしました。

(2) メンタルヘルスをはじめとする労働者の健康確保対策の推進を目的とした取組み

(イ) 「和歌山県産業保健講習会」の開催

＜和歌山労働局、和歌山県医師会及び弊会の3者共催＞

県下の産業保健活動の推進に資するため昭和47年から開催している「和歌山県産業保健講習会」（本年度で第44回目）について、産業医及び衛生管理者をはじめとした産業保健関係者の参加のもと平成29年2月25日に和歌山商工会議所にて開催しました。

(□) 和歌山産業保健活動総合支援センター、労働安全衛生コンサルタント会等との連携した取組み

一昨年改正された労働安全衛生法での「ストレスチェック制度」や「受動喫煙防止措置」、「化学物質のリスクアセスメント」などについて、これら制度の円滑な施行をはじめ、労働者の健康確保を図るため和歌山産業保健活動総合支援センター、労働安全衛生コンサルタント会、各支部においては、地域産業保健センターと連携し、セミナー等の開催をはじめ制度等の周知・啓発活動を実施しました。

(3) 労働時間をはじめとする労働条件の確保・改善の推進し、より働きやすい就環境の整備を目的とした取組み

(イ) 「働き方改革」等の取組みの推進

「和歌山働き方改革宣言」に掲げられた「長時間労働の削減」や、「年次有給休暇の取得促進」等のための各種取組み等について、協会紙、ホームページ等を活用して周知・啓発活動を実施しました。

(□) 労働関係法令の周知・啓発

労働関係法令の改正内容等労働基準法をはじめ関係法令の内容について、和歌山労働局や各労働基準監督署と連携して説明会を開催する等により周知・啓発活動を実施しました。

(4) 労働関係情報等の提供、広報・啓発サービスの取組み

(イ) 協会紙：「労基ニュース紀の国」の発行

平成22年3月号から紙面刷新した協会紙「労基ニュース紀の国」について、引き続き紙面の充実を図りながら、会員や関係機関への情報の提供等を実施しました。

(□) ホームページ等によるより迅速な情報の発信

ホームページを平成22年4月に開設以来、技能講習等実施計画及び各種行事等々必要な情報提供を行うことにより、幅広い情報発信に寄与し着実に浸透してきています。

また、昨年4月から本格的に実施しましたメールマガジン「和労基mail」については、利用されている会員様から好評を得ているところです。

## 2 公益目的事業<2>

(事故又は災害の防止を目的とした事業(労働安全衛生法に基づく免許、技能講習及び特別教育等の教育・講習事業))

(1) 出張特別試験の実施

近畿安全衛生技術センターによる出張特別試験を平成28年8月31日(水)に和歌山地域地場産業振興センターにおいて実施し、受験者数は、全体で809名でした。

(2) 技能講習等の実施……(詳細資料は別掲)

平成28年度の技能講習等の実施実績は以下のとおりです。

(イ) 技能講習	実施回数	77回	受講者数	2,919名
(ロ) 職長教育(安全衛生責任者含)	実施回数	5回	受講者数	152名
(ハ) 安全管理者選任時研修	実施回数	3回	受講者数	80名
(ニ) 安全衛生推進者等養成講習	実施回数	7回	受講者数	142名
(ホ) 新規雇入れ者安全衛生教育	実施回数	2回	受講者数	83名
(ヘ) 特別教育等	実施回数	24回	受講者数	586名
(ト) 衛生管理者受験準備講習	実施回数	1回	受講者数	90名
合計		119回		4,052名

※参考事項<各種技能講習の受講者数の推移>

平成24年度：実施回数113回、受講者数4,267人
平成25年度：実施回数121回、受講者数3,915人
平成26年度：実施回数123回、受講者数4,117人
平成27年度：実施回数115回、受講者数4,097人

(3) その他の安全衛生教育等

(イ) 平成28年度「経営者安全衛生セミナー」の開催

安全衛生水準の一層の向上を目指すための経営者、管理監督者等を対象とした経営者安全衛生セミナーを平成28年5月19日～20日及び5月23日～24日の2回、中災防大阪安全衛生教育センターとの共催で、河内長野市の大阪安全衛生教育センターで開催し、当県下から6名参加されました。

(ロ) 第一種・第二種衛生管理者受験準備講習の開催

第一種は、平成28年6月15日(水)～17日(金)の3日間、第二種は6月16日(木)～17日(金)の2日間、和歌山地域地場産業振興センターで実施し、参加者は全体で90名でした。

### 3 収益事業 <1>

この事業は、当法人の目的に沿った書籍等安全衛生用品の販売（斡旋）の事業ですが、以下のとおり実施しました。

- (イ) 全国安全週間等におけるポスター、幟、安全衛生用品の販売
- (ロ) 技能講習及び特別教育用テキスト、国家試験参考書籍、関係法令等の解説図書等の販売
- (ハ) 動力プレス機械検査標章の販売

### 4 収益事業 <2>

(労働安全衛生法に基づく健康診断事業)

労働安全衛生法に基づく一般定期健康診断、特殊健康診断の実施計画の策定、受診勧奨の実施、健診当日の受付及び健診費用の受領等の業務を実施しました。

### 5 委託事業関係

(1) 全国労働基準関係団体連合会（全基連）和歌山県支部の事業

(イ) 厚生労働省からの受託事業である「新規起業就業環境整備事業」（平成27年度～平成28年度の2年間）について、新規に事業を開始した事業場を対象に、労務管理および安全衛生管理に関するセミナーの開催及び普及指導員による個別指導を実施しました。

(ロ) 同じく厚生労働省からの受託事業である「介護事業場就労環境整備事業」（新規：単年度）について、介護関係事業場を対象に当和歌山県支部においてもセミナーの開催及び普及指導員による個別指導を実施しました。

セミナーは、2つの事業を共通で2回開催（和歌山市、田辺市）し、「労務管理の基礎からセミナー」と称して、新規事業場以外にも労務担当者で基本的なことを学びたいという方にも参加いただきました。セミナーは、計54社、78名が参加、個別指導は新規事業場7社、介護事業場を5社実施しました。

### 2 中央労働災害防止協会関連の事業

(1) 「第三次産業労働災害防止対策支援事業（保健衛生業）」において、社会福祉施設及び医療保健業を対象に腰痛予防対策講習会を平成28年12月6日（火）和歌山県労働基準協会研修室にて開催し、計62名が参加しました。

(2)「中災防地域安全衛生広報活動等事業」において、

①「和歌山県労働基準協会中災防相談等窓口」としての対応、②緑十字賞の推薦等業務、中小企業無災害記録の問合せ、申請勧奨等その他安全衛生思想の普及・広報活動を実施しました。